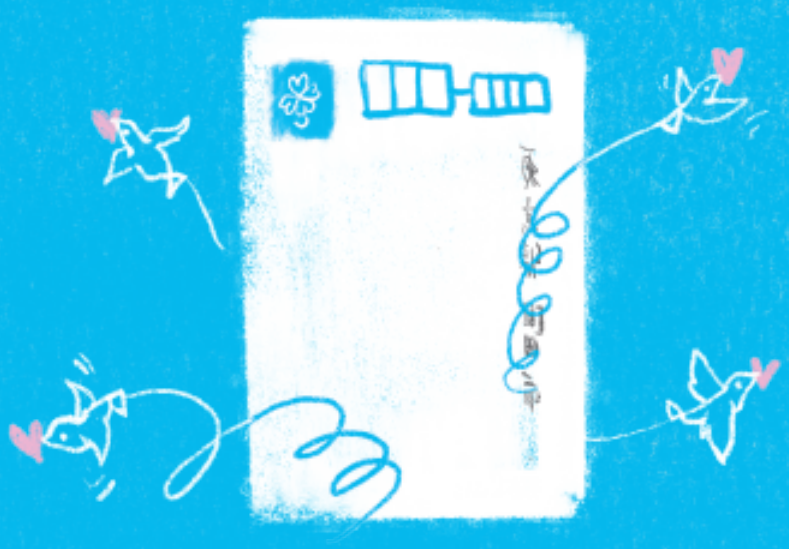
あなたのはがきが、だれかのために。



書き損じはがきや未使用はがきが
国際協力活動への寄付になります

くわしくは　はがき寄付　シャプラニール　検索

あなたのはがきで、守られる命がある（ネパールの洪水防災事業の場合）

はがき5枚で
（約250円のご寄付）

ネパールの洪水の多い地域で
河川の強化に使われる
竹の苗1本分の植林に相当

はがき20枚で
（約1,000円のご寄付）

河川周辺の住民代表が集まり
地域の防災能力を強化するための
ワークショップ1回開催に相当

※皆さんのご寄付はネパール防災活動を含めシャプラニール活動全般に役立てます。

参加方法

ハガキや切手を
まとめる

▶▶

投函！

送り先

〒169-8611
東京都新宿区
西早稲田 2–3–1
シャプラニール
「はがきキャンペーン」係

寄付になる物

書き損じ・未使用はがき
未使用・使用済切手

認定NPO法人 シャプラニール＝市民による海外協力の会
TEL：03-3202-7863（受付時間 火～土曜 10:00-18:00）

SHAPLA NEER

洪水に怯える人々に、安心して暮らせる日々を。

南アジアのネパール、バングラデシュには気候変動の影響もあり、近年大きな水害を繰り返し受けている地域があります。ぜい弱な地域で暮らす人々の命を守るための取り組みは待ったなしの状況です。

国際協力NGOシャプラニールでは、こうした場所で「災害に強い地域つくる活動」に取り組んでいます。これまで堤防などのインフラ整備や、住民や行政の防災能力強化などを行った成果として、大雨が起きた時にも人的被害を防ぐことができました。洪水による被害が大きく減ったことで、安心して生活を送ることができるようになっただけではなく、今まで使うことができなかった土地で作物を育て収入が向上した住民もいます。

■シャプラニールがネパールで行う防災の取り組み

ネパール南東部のモラン郡は複数の川に囲まれている地域で、洪水によって過去５年間で2,000世帯以上が家を失い、数百人が命を落としています。ひとたび洪水が起きると、家だけではなく、大切に育ててきた農作物、水牛や豚などの家畜、広い範囲にわたって甚大な被害が生じてしまいます。シャプラニールはこの地域で、住民の防災能力の強化、学校での防災教育、そして堤防などの整備を通じ、地域の人々とともに防災・減災に取り組んでいます。

いま行動を起こすことで守られる命、暮らしがあります。

本キャンペーン担当のダハルです。シャプラニールの活動地であるネパールで生まれ育ちました。ネパールは日本と比べ、河川が整備されておらず、人々の防災に対する知識もまだまだ足りない状況があります。

「雨期は川の増水が怖くて、夜も眠れない…」そのような想いを抱えている方々も多くいます。生まれ育った土地で暮らす人々の命と生活を守り、災害に強い地域をめざすためには継続的な支援が必要です。はがき１枚が大きな支援につながります。ぜひ、ご協力をよろしくお願いします。

キャンペーン担当
ダハル・スディプ

「シャプラニール＝市民による海外協力の会」について

シャプラニールは、バングラデシュ、ネパール、日本で、貧困のない社会の実現をめざし50年以上活動を続ける国際協力NGOです。社会やほかの援助団体の支援から「取り残された人々、課題」に対して特定の宗教、政治、企業、団体に属さずに支援を届けています。

SHAPLA NEER

認定NPO法人 シャプラニール＝市民による海外協力の会
〒169-8611 東京都新宿区西早稲田 2-3-1 早稲田奉仕園内　TEL：03-3202-7863 / MAIL：sutenai@shaplaneer.org
シャプラニール 検索 https://www.shaplaneer.org/